

## 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立岡山御津高等学校	
実践者等		清水 逸生	実践日 令和4年6月28日
実践場面		理科・科学と人間生活	
対象生徒（学年等）		キャリアデザイン科1年	
育成を目指す資質・能力		<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化	
		<input checked="" type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input checked="" type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用	
		<input checked="" type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化	
		<input type="checkbox"/> その他（ ）	
	家庭学習	<input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着	
実践の内容			
<p><b>【授業】</b></p> <p>Google スライドを用いたグループ活動からのプレゼン発表を行った。テーマはリサイクルについて。各グループ「鉄、アルミニウム、紙、ペットボトル、プラスチック」の中から一つ選択して行った。</p> <p>第1編「物質の科学」の第1章「材料とその再利用」の内容を学び、身近な物質や材料のことを理解したので、学んだ知識をアウトプットする場面としてグループワークを設定した。活動にスムーズに入れるようにグループはこちらで事前に決めておき、机の合わせ方や荷物の移動などを完了させてから活動を開始させた。</p> <p>グループワークを行うと指示してからの授業3時間分を発表準備の時間として与え、各グループでリーダーを中心に情報収集、編集、発表原稿作成など役割分担して計画的に活動を進めさせた。居残りはさせず、与えられた時間内で協力して最大限のパフォーマンスを発揮できるように指示した。</p> <p>当日はグループ番号の若い順から発表させた。教材提示装置にChromebookを接続し、各スライドを表示させて全員が前に出て発表させた。発表後は1分間評価シートを記入させ、記入後、次のグループが準備し発表に移った。</p> <p>ほとんどのグループはスライド作りに夢中になって、肝心の発表がうまくできていなかったが、今回は初めてだったので「スライドはプレゼン発表のための道具であり目的ではない。」ということも理解してほしかったのでいい経験になったと思う。</p> <p>情報の集め方、共有の仕方などChromebookの操作に慣れてきた生徒にとって、応用的な使い方をさせたくて今回の活動を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>			
<p><b>【本時と家庭学習との連動】</b></p> <p>特になし。基本的に授業内ですべて指示、活動としている。与えられた時間内で終わられるように注意させた。</p>			